vinetur

カナダのホテル収入、10月まで10カ月連続で増加

カナダの10月のRevPARは9.0％増の162.61カナダドル。平均客室単価は稼働率を上回る伸びを示した。

2026年11月20日（金）



カナダのホテル市場では10月も収入の増加が続き、客室収入は10カ月連続で前年を上回った。稼働率と平均客室単価の双方が上昇した。

CoStarが11月19日（木）に発表したデータによると、業界の主要指標である販売可能客室1室当たり売上高（RevPAR）は、カナダ全体で前年同月比9.0％増の162.61カナダドルとなった。客室単価の上昇と稼働率の改善が重なって伸びを押し上げ、客室単価は稼働率を上回るペースで上昇した。

データによると、10月の稼働率は71.4％で、2025年10月から相対比で2.4％上昇した。平均客室単価は6.5％増の227.75カナダドルだった。前年より多くの客室を販売しただけでなく、客室単価も

引き上げたことで、客室収入全体が増加した。

数値はカナダ全体のホテル市場を対象とし、名目カナダドルで示されている。CoStarの発表では、増加分のうち実質的な需要の伸びや価格決定力による部分と、インフレの影響を受けた可能性のある部分がどの程度かは区別されていない。

今回の結果で注目されるのは、単月の伸びそのものよりも、増加が続いている期間の長さだ。CoStarによると、10月でRevPARと平均客室単価はいずれも前年同月比で10カ月連続の上昇となり、年の大半にわたってホテルの価格と収入が堅調に推移していることが示された。

RevPARは稼働率と客室単価の両方の影響を反映するため、宿泊業界で注視されている。ホテル市場では、客室の販売数を増やす、単価を引き上げる、あるいは両方を同時に行うことでRevPARを伸ばせる。カナダの10月の結果では、稼働率より平均客室単価の伸びが大きく、価格上昇の寄与がより大きかった。

稼働率の上昇は、客室単価の伸びに比べて小幅だった。CoStarのデータが示す稼働率の2.4%上昇は、2.4ポイントの上昇ではなく相対的な増加だ。この違いは、客室需要が着実に改善した一方、販売された客室の割合が急増したわけではないことを示す。

データからは、カナダのホテル業界が年末に向けても収入の上昇基調を維持していたことがうかがえる。稼働率が70%を超え、平均客室単価も上昇を続けるなか、全国のホテル運営事業者は10月の名目客室収入を2025年同月より増やした。